

会 議 録

会議の名称	平成27年度第1回茨木市環境審議会
開催日時	平成28年3月18日（金） （午前） 午後）10時00分 開会 （午前） 午後）11時50分 閉会
開催場所	市役所南館3階 防災会議室
議 長	三輪 信哉
出席者	石山 郁慧、岩渕 善美、玉井 昌宏、天保 好博、藤田 紫、 三輪 信哉、武蔵野 實、森下 恭子、山田 俊一 【9人】
欠席者	久米 辰雄、前迫 ゆり、三上 雅弘 【3人】
傍聴人	0人
事務局職員	西林産業環境部長、神谷産業環境部次長兼資源循環課長、 松山環境政策課長、酒井環境事業課長、吉岡環境政策課参事 井澤環境政策課政策係長、江濱環境政策課職員 【7人】
開催形態	公開
議題・報告	1 議題 (1) いばらきの環境について（平成26年度年次報告書）
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・茨木市環境審議会委員名簿 ・茨木市環境審議会規則 ・茨木市環境審議会傍聴要領 ・茨木市審議会等の会議の公開に関する指針

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開会</p> <p>1 委員紹介</p> <p>1 審議会会長・副会長の選任</p>
事務局	<p>第7期審議会の会長と副会長の選任を願いたい。会長・副会長の選任については、本市環境審議会規則第2条により、委員の互選により定めると規定されており、会長及び副会長の互選を願いたい。事務局としては、これまでのご尽力のあった功績から、会長に三輪委員、副会長に武蔵野委員を考えているが、どうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり。)</p>
事務局	<p>異議なしということで、会長には三輪委員に、副会長には、武蔵野委員に就任を願いたい。</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>1 審議会の成立の確認</p>
会 長	<p>本日の委員の出席状況について、事務局から報告を願いたい</p>
事務局	<p>本日は12人の委員のうち、9人に出席いただいている</p>
会 長	<p>本日は半数以上の委員が出席しているので、環境審議会規則第3条第2項により会議は成立している。</p> <p>1 地球温暖化対策推進部会について</p>
会 長	<p>ここで、環境審議会規則第4条第1項に基づき設置している地球温暖化対策推進部会について、事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>地球温暖化対策推進部会は、地球温暖化対策推進に関する調査・審議等を行うため、本審議会に平成25年8月に設置をしたところであり、特に、本市の地球温暖化対策実行計画の進行管理を行うための管理指標等につい</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会 長	<p>て、検討をいただいている。部会での調査・審議内容については、まとまった段階で、本審議会に報告をさせていただく。</p> <p>ただいま説明のあった部会は、審議会規則第4条第2項で「部会は会長が指名する委員をもって組織する」と定められていることから、久米委員、玉井委員、三上委員、天保委員、三輪委員の5人を指名するので、よろしくお願ひしたい。</p> <p style="margin-left: 2em;">1 公開・非公開の確認</p>
会 長	<p>議事に入る前に、本会議の公開・非公開について確認したい。審議会等の会議の公開について、事務局の説明を願ひたい。</p>
事務局	<p>資料「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」の第2によって、原則として審議会を公開の対象となる会議と規定しており、同指針第4では公開・非公開を審議会の中で決定することとなっている。なお、環境審議会では、既に会議資料も含めて原則公開と決定しており、資料として傍聴要領のとおり定めている。</p>
会 長	<p>ただいまの説明のように、本審議会は原則公開としており、非公開の事案があれば、その都度、本審議会で決定していくので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>また、審議会の議事録についてだが、発言者の個人名は出さずに、例えばA委員、B委員とし、要点を議事録としてまとめたいと考えているが、問題ないか。</p> <p style="margin-left: 2em;">（「異議なし」の声あり。）</p>
会 長	<p>異議なしということなので、そのようにさせていただきます。</p> <p style="margin-left: 2em;">1 議題</p>
会 長	<p>それでは議題に入る。事務局から「いばらきの環境について（平成26年度年次報告書）」説明をいただきたい。</p>
事務局	<p>「1 いばらきの環境について（平成26年度年次報告書）」 いばらきの環境に基づき、概要を説明</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会 長	説明内容について、質問、意見等はないか。
C委員	<p>環境指標について、グラフや目指すべき方向性を記載するなど、工夫されているが、市民から見て施策ごとの達成状況が分かりづらいのではないか。例えば、6ページに平成26年度、「事業所における化学物質排出量」が81トン、「環境保全協定の締結件数」が15件とあるが、これが多いのか少ないのか、または適当なのか分かりづらい。</p> <p>これについて、別ページになるが、10ページに「市街地の公園・緑地面積」が平成26年度126.62haとあるが、これだけでなく、「これは身近な公園（例えば耳原公園）が何haであり、この公園何個分になる」といった記載を追記することで、市民によりわかりやすいのではないか。</p>
事務局	ご指摘のとおり、市民から見てイメージしづらい部分もあるため、次年度以降作成する際は、イメージしやすい文言等を追加するなど、記載方法について検討する。
A委員	別添の茨木市地球温暖化対策実行計画進捗状況について、1990年度以降の温室効果ガス排出量の推移はどこを見れば分かるのか
事務局	別2ページ、中段のグラフ「市域の1人あたりの温室効果ガス排出量の部門別推移 (t-CO2/年・人)」が、温室効果ガス排出量の推移である。
I委員	<p>それぞれの家庭からの温室効果ガス排出量の削減が、市域の温室効果ガス排出量削減につながり、結果として国全体の削減にもつながる。家庭での取組が地球温暖化削減につながることをもっと具体的に記載してはどうか。</p> <p>例えば、電気については使用する時は温室効果ガスを排出しないが、発電時に温室効果ガスを排出する。ごみについても、ごみが廃棄する時には温室効果ガスを排出しないが、処分する時に温室効果ガスを排出する。このため、家庭での取り組みが温室効果ガス排出削減に繋がるといったことをしっかりと市民に周知すべきではないか。</p>
会 長	<p>A委員、I委員の意見をまとめると、いばらきの環境の記載方法について、若干市民から見ると分かりづらいということである。</p> <p>また、茨木市地球温暖化実行計画でいうと中期目標の2020年であり、現在7.7%の削減であるため、今後4年間で約13%削減しないといけませんが、そういった表現が直感的に分かりづらいため、記載方法について工夫して</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
C委員	<p>ほしい。</p> <p>茨木市地球温暖化実行計画に関して、近年、温室効果ガス排出量は増加傾向にあるが、エネルギー消費量は減少傾向にある。これは火力発電所の発電割合が増加したことに伴う電気の二酸化炭素排出係数が増加したことが影響していると思われるが、これらを分かりやすく記載しないと、エネルギー使用量も増加しているよう市民に誤解されるのではないか。</p>
事務局	<p>これまでの委員の意見をまとめると、「いばらきの環境」の記載内容が分かりづらいというご指摘であるかと思う。これは平成26年度の実績であるが、平成27年3月に新たに策定した環境基本計画の構成に合わせて、従来の「いばらきの環境」から大幅に構成内容を見直しており、一部分かりづら部分もあったかと思う。今後、さらに市民の方に分かりやすくなるようご指摘の箇所について検討する。</p>
B委員	<p>茨木市地球温暖化実行計画の説明の際に、対象としている温室効果ガスは6種類とのことだが、報告書では温室効果ガス排出量の単位がt-CO2となっている。報告書では二酸化炭素のみを算出しているのか。</p>
事務局	<p>温室効果ガス排出量は二酸化炭素の他、メタン、一酸化炭素等の6種類を対象としており、二酸化炭素以外の温室効果ガスについては、二酸化炭素の量に換算し算出している。例えばメタンであれば、二酸化炭素と比較すると21倍の温室効果があるため、メタン排出量を21倍することで二酸化炭素に換算をしている。</p> <p>記載方法が分かりづらい部分もあるため、記載方法については、今後検討する。</p>
事務局	<p>いばらきの環境の本編は、市の施策を端的に分かりやすく市民に伝えるといった視点で作成しており、細かな説明や数値等は省略している。これらについては資料編に記載しており、今後、本編だけでなく、資料編も記載を分かりやすくし、内容を充実するよう検討する。</p>
H委員	<p>地球温暖化対策推進部会の説明があったが、指名のあった委員以外の委員はどのような役割を担えばよいのか。</p>
事務局	<p>地球温暖化対策推進部会は茨木市地球温暖化対策実行計画の進捗管理等について意見等をいただくため設置している。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
H委員	<p>指名のあった委員以外については、いばらきの環境に基づき、市の環境に関する施策全体について、ご意見等をいただければと思う。</p> <p>また、地球温暖化対策推進部会でまとまった内容については、本審議会へも報告させていただく。</p> <p>私は環境教育ボランティアに携わっているが、環境施策のメインは環境教育であると思う。しかし、講座等を開催しても、市民はなかなか集まらず、環境への関心が低い。環境教育について、もっと積極的に推進すべきではないか。</p>
事務局	<p>環境教育は重要であると認識しており、環境基本計画でも全ての分野に関わる横断的要素としている。また、今年度、安威小学校でカリキュラムをつくり連続的に講座等を実施するなど、積極的に環境教育を推進している。</p> <p>これら、環境教育事業については、地道な事業で成果がすぐに実感しにくい部分もあるが、今後も積極的に施策を実施していく。</p>
H委員	<p>広報誌でとりあげるスペースも小さく、講座等の周知啓発方法に問題があるのではないか。</p>
事務局	<p>広報誌については、市の全ての施策を掲載する必要があるため、市全体として統一した基準により作成しており、環境部門のみのスペースを大きくする等の変更は難しい。その他の周知啓発方法については、ご意見として頂戴し、検討させていただく。</p>
会 長	<p>今回は環境審議会であるため、議題からは若干ずれているが、環境教育は環境基本計画でも横断的要素とするなど、重要であるため周知方法等について今後事務局で検討してほしい。</p>
D委員	<p>茨木市は北部が森林であり、みどりに囲まれている。しかし、「基本施策 2 バランスのとれた自然環境をつくる」の報告書の内容を見ると、主に、都市とみどりに関する施策が中心となっている。生物多様性の視点からも、茨木の北部のみどりについても、もっと記載してはどうか。</p> <p>また14ページの「林病虫害対策」では「ナラ枯れに対する防除事業を実施しました」とあるが、この表現だと完全に防除できたと誤解を与えないか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>「林病虫害対策」については、事業を実施したという趣旨の記載だが、誤解を与えないよう記載方法について検討する。</p> <p>山間部の森林についても、記載内容を充実するよう検討する。なお、現在策定中の緑の基本計画において、都市部の公園等を中心にした緑だけでなく、山間部の緑の重要性についても併せて一体的に記載している。</p>
D委員	<p>15ページに「アライグマ、ヌートリアの被害対策」の記載があるが、現在、最も問題となっているのは鹿である。</p> <p>茨木では被害が少ないが、高槻や箕面ではかなり被害が出ており、今後茨木市でも被害が出る可能性があるため、市としても対応を検討していただきたい。</p>
事務局	<p>今後対応を検討する。</p>
C委員	<p>安威川ダムや新名神高速道路などの大規模開発について、環境部門としてどのように関わり対応しておられるのか。記載がないが、対応しているのであれば記載してはどうか。</p>
事務局	<p>大規模開発との関連について、前書きのページを追加するなど、記載する方向で検討する。また、これまで、「いばらきの環境」作成後に意見等をいただいていたが、次年度以降、作成前に記載内容についてご意見等をいただく機会を設定したいと思う。</p>
会 長	<p>「森林等のみどり」や「環境教育」、「大規模開発」などの事業は、年度ごとに施策の評価を検証するよりも、長期的な視点で検証した方がよいかと思う。こういった分野について、前書き等、本編の構成とは別立てて記載した方が市民からも分かりやすいのではないかと。今後、作成の際に検討するよう事務局に願います。</p>
事務局	<p>作成の際に検討する。</p>
B委員	<p>茨木市では、様々な特色のある施策を実施しており、その中でもコミュニティサイクルについては、市レベルで実施している例はあまりなく、もっとPRしてもよいのではないかと。</p> <p>また、これに関連し、市として力を入れて実施している施策はあるのか。施策が多いため、力を入れている施策を明記する方が、市民からみて分かりやすいのではないかと。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>施策が多いため、この場ですべての分野ごとについて、お答えするのは難しいが、例えば「基本施策2 バランスのとれた自然環境をつくる」であれば、平成27年度新規事業として、生物多様性に関連した環境資源調査を実施している。これは市域にどのような生きものが生息しているか調査する業務である。</p> <p>また、この調査結果を基にどのような施策ができるか、平成28年度以降検討をすすめていく。</p>
I 委員	<p>市民は、日常生活において一度「当たり前」と感じてしまうと、そこにある問題点になかなか気づきにくい。このような問題点に気づくようなきっかけづくりが大切であり、そのような施策を実施してほしい。</p>
E 委員	<p>コミュニティサイクルの話があったが、市外の事業者で、茨木市内を営業で回るような方は、これまで自動車やバイクを使用していたが、コミュニティサイクルが始まって以降、これを活用していると聞いている。このように環境だけでなく、利便性としても高い事業である。</p> <p>また、9ページ路上喫煙禁止地区の見直しについて、禁止地区を一部拡大とあるが、変更前後を見比べても拡大したかどうか分かりづらい。</p>
事務局	<p>禁止地区の詳細については、JR茨木駅東口駅前広場の改修に伴い、ニッショーストア前を禁止地区にするなど、禁止地区を拡大している。ご指摘のとおり掲載している表だけでは分かりづらいため、今後表記方法について検討する</p>
A 委員	<p>16ページに指標として、「プラットホームへの参加者数」とあるが、プラットホームとは何か。</p>
事務局	<p>プラットホームとは、市民や事業者など様々な主体の方が集まり、それぞれのアイデアを持ち込み情報交換や勉強会を行いながら、どのような取組ができるかを検討する場のことである。このプラットホームの一つとして、エコプラットホームがあり、平成25年度、省エネ・省CO2に取り組んでいる市民・事業者・学校・市民団体などにスポットをあて、その知恵と工夫を広く紹介する「エコグランプリいばらき」を開催したが、この実施するため、開催方法等について、検討を行った。</p>
A 委員	<p>プラットホームという表現が様々な場面で使用されているため、注釈を記載した方がよいのではないか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	今後、注釈を記載する方向で検討する
H委員	プラットフォームについて平成28年度は開催する予定はあるのか。
事務局	<p>開催回数は未定である。プラットフォームについては、基本的には議題がある際に開催している。平成24、平成25年度に参加者数が多いのは、先ほど述べたように平成25年度に「エコグランプリいばらき」を開催したため、この実施方法等について検討するためプラットフォームを開催し、参加者数の増加につながった。</p> <p>しかし、26年度以降は開催回数も減少している。市民・事業者等と情報交換できる貴重な場であり、環境指標としていることもあるため、今後、プラットフォームを積極的に開催し、市民・事業者の意見を取り入れた施策となるよう検討する。</p> <p>1 閉会</p>